

震災関連死は生ませない!! 鳥取県中部地震 鳥取民医連・鳥取医療生協 合同対策本部ニュース

2016年11月1日

vol.⑪

発行元：鳥取民医連・鳥取医療生協
中部地震合同対策本部
連絡先：0857-24-6161

1日12時現在

被害・避難状況

◆人的被害 21人(重傷4、軽傷17)

◆住民避難 224人、

◆住宅被害 8,487棟(全壊2、半壊3、一部破損8,482)

◆公共土木施設被害 131カ所

11/6(日)までに中部全組合員世帯の安否確認やりきる!

本日、合同対策本部事務局会議が開催され(毎日開催しています)、取り組み状況の共有と、週末に向けての行動内容が協議されました。

現在の行動内容は大きく分けて組合員集中訪問行動(休日)、避難所訪問(平日夕方、休日)、電話かけ(毎日)による組合員の安否確認です。この間の訪問で明らかになった要フォローへの対応も含めて行動量の拡大が必要です。11月3日は他県連も含めて多くの応募があり100名規模となる見込みです。被害が大きかった北栄町(住宅被害全壊2軒はいずれも北栄町)まで思い切って範囲を広げ、11月6日までに目標の2,700件の安否確認をやり切ることを確認しました。



↑合同対策本部事務局会議の様子

11月3日(祝・木)エントリー数 98名!!
他県連66名、自県連32名(組合員含め)

※本日の電話かけ

◆組合員を中心に123件(累計747件)

◆鳥取生協病院職員も電話かけを開始しました☆

厚生事業協フットサル全国大会の
みなさんからカンパを頂きました!



みんな
ありがとう!

↑頂いたカンパを手に笑顔の林PT

これまでの訪問で掘んだ要フォローのケース

- 91歳、独居。片づけを依頼したが行政からは返事なし。家の中は散乱し、サッシもずれている。
- 80歳代夫婦。頭が痛い。寝不足。玄関に布団を敷いて寝ている。入浴できない。
- 80歳の母と息子の二人暮らし。母の見守り、話し相手が欲しい。母のトイレの問題もあり避難所に行けなかった。
- 70歳代、独居。筆筒が倒れたままで直せない。避難所が遠くて利用できない。
- 70歳代、独居。フォロー訪問実施。「心身ともに疲れた」
- 外、内壁がだめで捨てたいくらい。2階へ上がれない。上がりたくない。筆筒が2階にある。布団をおろすだけで精一杯。

…など、リストを上から順番に書くだけで大変な状況が伝わってきます。地震発生からおよそ10日、気が張っている被災者にこれから疲れが出てくる頃です。これから長い支援になります。私達職員も、自らが疲れを出さないよう気をつけながら、引続き頑張りましょう!

松江生協病院、倉敷医療生協が独自のニュース発行。

積極的に支援を呼びかけてくれています!

全国はひとつ!力を合わせて被災地支援をすすめましょう!